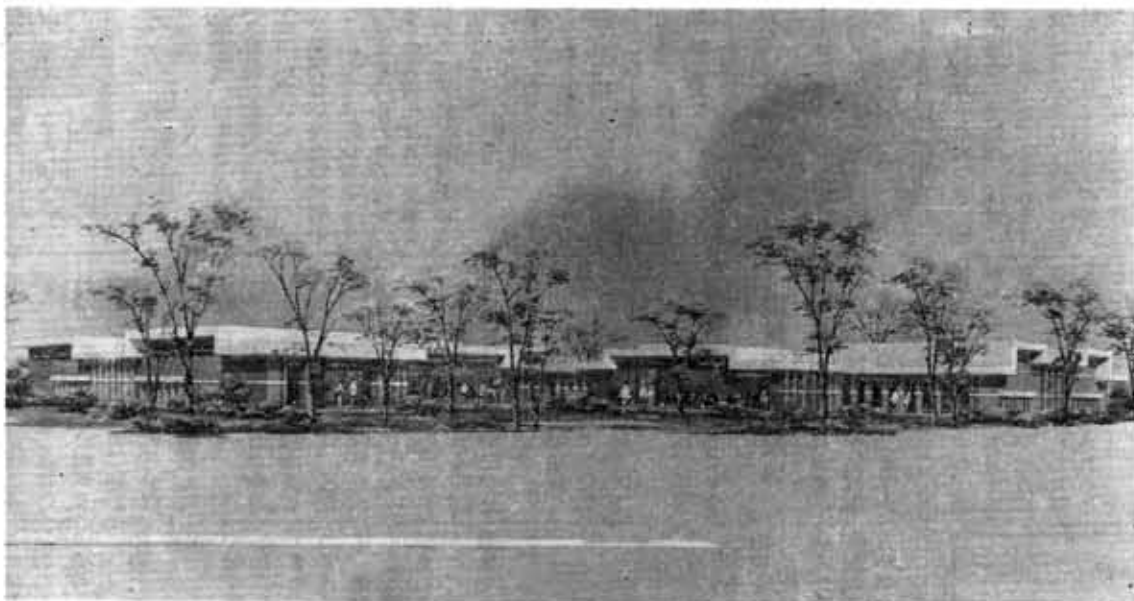


まちのうごき

(9月1日現在)	(8月中)	
世帯数 14,554世帯	生れた人 92人	
人口 48,847人	亡くなった人 16人	
男 24,252人	転入した人 427人	
女 24,595人	転出した人 327人	

◎発行 向日市役所(京都府向日市寺戸町中野20)
 ◎編集 広報広聴課
 ◎電話 075(931)1111

老人福祉センター



公園とドッキングした施設

◇ “お年寄りにやさしい場所”と、かねてから計画していた老人福祉センター建設がいよいよスタートし、その起工式が、先月十六日、同センター建設予定地(上植野町南開・阪急向日駅北東側)で行われました。同センターは来年三月末に完成し、四月には「福祉の殿堂」としてオープンします。

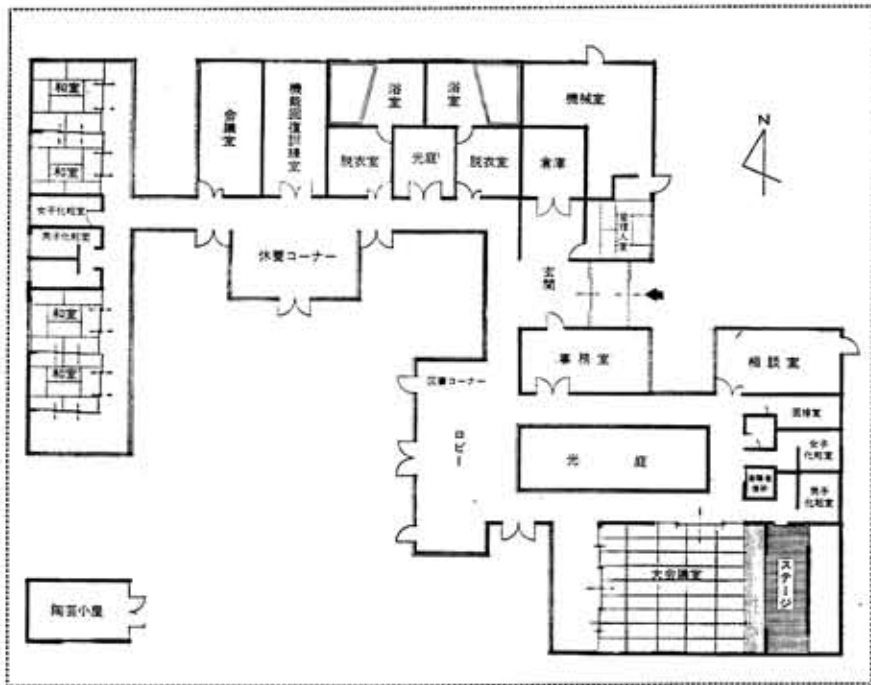
お年寄りに生きがいを

起工式は、民秋市長をはじめ、議会関係者、地元代表者が出席して行われました。式は、神官の儀式のあと、民秋市長がタワ入れをし、参加者全員が祭壇に玉グシをささげて、工事の安全を祈願して終了しました。老人福祉センターは、今日のように、生活文化の進展、高齢人口の増加、家族制度の移り変わりなど、お年寄りをとりまく社会環境が複雑化し、老人福祉の問題が大きく取上げられている中において、お年寄りに生きがいを提供し、お年寄りが自分の能力や環境を最大限に発揮できるように、お年寄りにやさしい施設を提供すること、社会活動に参加し、社会に貢献できるようにという意識をもたれるようにとの願いから、お年寄りの方々の生きがい対策と心身の健康の増進、知識教養の向上、趣味レクリエーション活動の場を提供することによって、社会活動への意欲を養う拠点となることを目的に建設されるものです。

福祉の殿堂

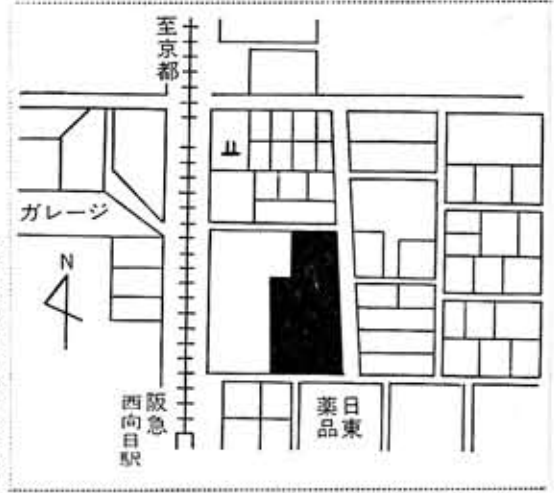
来年三月末に完成

同センターは、敷地面積約二千八百八十九平方メートルに工事費一億五千八百七十七万円をかけ、鉄筋コンクリート造平屋建九百四・二八平方メートル。施設の主なものは、お年寄りが囲碁・将棋・お茶・お花・手芸などのサークル活動を行うための和室、ステージを完備した大会議室、小会議室、男女とも十人が一度に入る浴室、生活・健康相談などを行う相談室。また、同センターの北西側には都市公園の建設も予定されており、お年寄りはもちろん、広く市民の方々の憩いの場・散策の場となるように計画されています。



▲老人福祉センター完成予想図
 ◀内部の平面図

老人福祉センター建設予定地



着工までの経過

51年7月 上植野町南開および鶴冠井町山畑地内に約五千平方メートルの用地を二億円で購入。
 51年9月 市長が市議会にて、老人福祉センター建設を表明。
 51年10月 センターの基本方針を決定。
 51年11月 “センター建設に伴う市長と語る会”を開催。老人クラブや社会福祉関係団体などから意見を聞く。
 52年3月 市議会に建設費予算を計上。
 52年8月 鶴冠井事務所にて公聴会を開催(府主催)。2年9月 府建築審査会にて審査。
 同日 府知事の許可おける同 建築確認通知おける

“市民体育大会に多数のご参加を”

ごあいさつ

大会会長 民秋徳夫

さわやかな秋の好季を迎え、ここに第6回市民体育大会を挙行できますことは誠に嬉しく、皆様とともにご祝儀いたします。
 本市も市制施行後、満5周年を迎え、住みよいまちづくりをめざし、懸命に努力しております。
 さて、年に一度のこの大会は、清く、仲よく、たくましく、をテーマに、スポーツを通じて皆様の健康と相互の親睦を図り、進んで明るいまちづくりの一助になることと確信しております。
 皆様におかれましては、公私何かとご多用のことと存

じますが、万障お繰り合わせの上、多数ご参加下さいますようお願いいたします。

日時場所

10月2日(日) 午前9時……競輪場内広場
 2日が雨天の場合は、9日(日)に順延。
 会場は競輪場です。

競技種目

男女びんつき競走、女子数字合わせ競走、男女障害物競走、親子孫三代リレー、混合綱引き、アベック樽ころがし、男子とじょうつかみ競走、混合紅白球入れ、女子500mリレー、男子600mリレー、男子800m競走、混合900mリレー、その他

